

頑張るダブルスクール生

星城大学生が夜間専門学校に通っています。大学で経営学を学びながら医療資格を目指す学生は、3年生7名・2年生7名・1年生11名。大学での学年は2～4年生とさまざまですが、昼と夜1日中勉強して下校するころは疲れと充実感で一杯なのではないでしょうか。

「奨学制度」

ダブルスクール生に対して大学と連携して学費を支援しています。星城大学の学生には専門学校の入学金と授業料の一部を奨学金として支給されます。



(P7参照) 大学卒(学士)と理学療法士の資格を目指し頑張る学生への支援制度です。一言で「頑張る」と言っても同じ年代の友人がアルバイト等自由に時間を使っているころ学習し、帰ってから多くの復習をするのは、単に「資格」を得るだけでなく「人格」をつくることにも役立っているのではないのでしょうか。

入試情報

「AO入試」

この入試の趣旨は「筆記試験や高校等での学業成績だけでは見ることができない受験生の能力・適性や意欲、目的意識などを志望動機書や面談・討論などを通じて多



面的に把握する。」という点にあり、Ⅱ部(夜間)を志望する社会人や大学・短大・専門学校等の卒業者に適した入試方法です。

「大学・専門学校併願特別制度」

高校生のニーズに対応する制度として実施しています。



専門学校に「合格・入学手続き」した受験生が星城大学に「合格」した場合、専門学校に納めた「入学金・学納金」全額を星城大学の「入学金・学納金」に振替ます。(併願可の推薦入試・一般入試に限ります。)学費の心配をせずに大学へもチャレンジできます。(詳しくは募集要項をご覧ください)

名英図書出版協会

リニューアル星城

事業部(名英図書出版協会)の主な事業に「学園内印刷物の制作」があります。今年度も、各部門の案内パンフレットに事業部が関わりました。広報物は「目を釘付けにする」「手に取りたくなる」「中を見たくなる」などの要素が、制作に要求されます。しかも学校法人ですから、「品格」をないがしろにできません。

そんな条件下、担当先生方のご協力により大学、高等学校、中学校のそれぞれの新しい「学校案内」が揃いました。是非、手にとって、誇りを感じてください。



法人本部

環境づくりを支援

過日の新聞報道によれば、「大学の4割が定員割れ」との掲載があり、大学に限らずいよいよ少子化による学生・生徒の需要と供給過剰による競争の激化が全国的に顕在化し、学校運営は厳しい環境下にあります。

当学園は、幸い真摯な教育の実践と父母の皆さんのバックアップなども相俟って堅実な運営が行えていると言えます。時あたかも、創立者生誕100周年及び学園創立65周年の伝統と蛍雪の重みを踏まえ、石田理

事長から第2の建学宣言を発したところがあります。「21世紀に生きる青少年が真に幸福で平和な中で、家庭、地域社会、日本、そして世界に貢献できる人材育成を目指す教育理念」を具現でき得る環境づくりを組織的・総合的に支援していきます。

法人本部としては、

1. お互いが支援し合う絆と一体感の醸成強化を踏まえ、学園各部門の持ち味を活かした学園の総合力を発揮し、内外へ存在感を高めていきます。
2. 内にあつては、中長期視点に立った諸

課題への取り組みを強化し、マスタープランと各年毎のアクションプログラムづくりをキッチリとし、豊かな学びを保証する学園としての役割の明確化と学園のベクトルづくりに努めます。

3. また外に向けては、特に、産官学交流サロン・星城懇話会・オープンカレッジ等を通じ、地域社会の一員としての立場をより鮮明にし、地域とのコミュニケーションを図り地域の活性化・地域貢献型の学園を目指していきます。